



特定非営利活動法人 アジア アパレルものづくりネットワーク

《第33回例会 **スリランカ**視察ミッション》 《ジェットロ 海外投資ミッション派遣協力事業》

アジア・アパレルものづくりネットワーク 会員各位様

謹 啓

錦秋の候、会員各位におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃よりアジア・アパレルものづくりネットワークの活動にご理解を賜り、ご協力をいただいております事誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

今回の例会は、当初、スリランカ～バングラデシュ視察でしたが、7月1日にダッカで日本人が巻きこまれる凄惨なテロ事件が発生したため、スリランカ1か国の視察となりました。スリランカは、元々、欧米向けの生産が多く、賃金も高く、人口も2,000万人と少ないこともあり、敬遠されてきました。しかしこの間のアセアン諸国の賃金高騰を見てくると、比較的落ち着いていることが明確になってきております。2011年にスリランカを訪問した際には、初心者の実質賃金が80ドル、経験者で1504でした。その当時のアセアンの実質賃金はベトナムで130～140ドル、ラオスが50～70ドル、カンボジアは61ドル、ミャンマーが50～70ドル、バングラデシュも50～70ドルと極めて低い賃金水準でした。しかし、その後、労働組合の要求のエスカレート、社会環境の変化により大幅に高騰してきています。ベトナムでは実質賃金は200～230ドル前後、ラオスのは168～180ドル、カンボジアは220ドル前後、ミャンマーでは130～150ドル、バングラデシュでは130～150ドル、インドネシアは180ドル前後と大幅に上昇しています。軒並み2倍から3倍の上昇です。

スリランカは、まだ180ドルの水準です。スリランカの縫製人口は50万人と推測されています。人口が2,071万人ですので、実に2.41%の人が縫製の仕事に従事しています。販売先は、ほぼ欧米向けです。見直しの必要性があると思われ、新たな視点で視察を行いたいと思います。

この度の例会は、ジェットロ様と共催により《海外投資ミッション派遣協力事業》として実施します。スリランカには日系の縫製工場が全くなく、お手上げでした。しかし、ジェットロ様のネットワークと、JUKI販売様のご尽力により、視察先のアポイントを取ることが出来ました。視察先は10か所に及びます。ジェットロ様、JUKI販売様には感謝を申し上げます。

このスリランカ視察ミッションの報告は**12月1日(木) 第34回例会**で行います。

会員の皆様方には、今後とも益々のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと同時に未筆ながら、会員各社の益々のご発展と会員各位のご活躍をお祈り申し上げ第27回例会のご挨拶とさせていただきます。

敬 具

2016年10月10日

特定非営利活動法人 アジア アパレルものづくりネットワーク

代表理事

小島 正憲